

フリーント 風

(現場)からの風

宮田 守男

(668)

暖房を使用する時期になり、灯油の価格が高騰で人工光合成藻類バイオマス。水電解などの技術が注目されている。長年期

待されてきた藻類のバイオマスは、筑波大学大学院渡邊信教授が、下水道処理の過程で藻類を育てるという画期的手法を生み出し国土交通省水管管理・国土保全局から予算付けがされたと話題になってい

まだ実証実験の段階だが全国に点在する下水処理場の3分の1で藻類が育てられ、原油生産を始めたとすれば現在の日本の年間輸入量1億3600万トンと同じ量の原油を藻によって生むことができると試算されている。

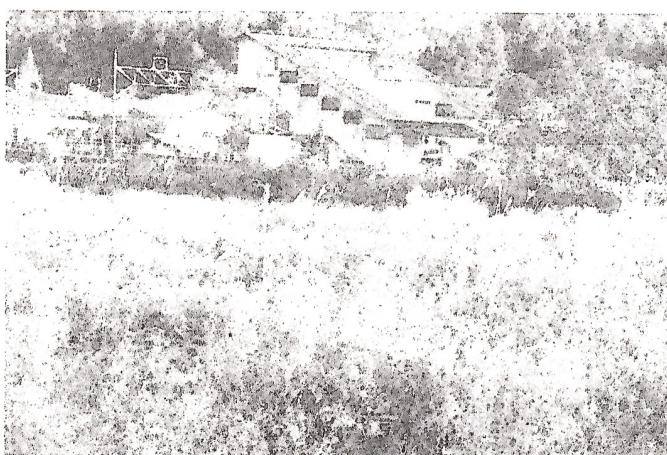
10月長野市茶臼山動物園に家族で初めて訪れる。レッサーパンダやオランウータンなど70種以上の動物に会うことができた。昭和58年に開園した動物園は、緑豊かな森の中にあって、動物たちをよ

能性を秘めている。燃料価格軽減施策で何兆円を投する資金力があれば、原油価格高騰に悩まされる現状から次世代エネルギー開発への強力な取り組みを実施してほしいと願うばかりだ。

り身近に自然の状態で楽しむことができた。フランスの哲学者ボル・ジャネーが提唱した「ジャネーの法則」では、年月を重ねるごとに時の流れが速くなつたと感じるという。年齢が積み上がる

を、おおらかに見守るゆとりが大切だと気付かされた日を過ぎず」とができた。

16日国際オリンピック委員会は28年のロサ



外来植物セイダカアフダチソウの繁茂が目立つようになってきている。全村的な取組が求められている

広げられたがオリンピック種目を楽しんで生まれることをたいに期待したいものだ。だう。役員が高齢化、選手不足による

チーム減少に良い影響が生まれることをたいに期待したいものだ。
(信州地域社会フォーラム会員・白鳥村森上)